

令和4年第1回定例会（2月議会） 産業観光委員会・分科会 提出資料

令和4年2月24日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

観光戦略課	観光文化スポーツ部 令和4年度の主な施策の概要 -----	1
	宿泊施設生産性向上支援事業について -----	2
	観光施設魅力向上事業について -----	3
観光振興課	観光連携団体共同事業について -----	4
	秋田の魅力発見・発信事業について -----	5
	観光による消費拡大緊急対策事業について -----	7
	インバウンド回復に向けた誘客促進事業について -----	8
	「東北絆まつり2022秋田」開催支援事業について -----	10
	観光エリア強化支援事業について -----	11
	広域連携による戦略的プロモーション事業について -----	13
	デジタルデータを活用したターゲット分析・誘客促進事業について ---	14
秋田うまいもの販売課	発酵の国あきた魅力発信事業について -----	16
	あきた食品産業SDGsモデル推進事業について -----	18
	オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進プロジェクトについて ---	20
	あきた「食と観光」魅力発信事業について -----	22
交通政策課	航空需要回復・新規開拓事業について -----	25
	フェリー航路活性化・モーダルシフト推進事業について -----	27

	地域公共交通の維持・活性化対策関連予算について	28
	秋田内陸縦貫鉄道関連予算について	31
	由利高原鉄道関連予算について	33
	新たなモビリティサービス導入支援事業について	35
	地域公共交通等新型コロナ対策事業について	36
	秋田版図柄入りナンバープレート導入事業について	38
文 化 振 興 課	文化芸術がつなぐ交流拡大事業について	39
	劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業について	41
	音楽を通じた地域交流活性化事業について	43
	あきた芸術劇場整備事業について	44
	あきた芸術劇場開館準備事業について	46
	あきた芸術劇場グランドオープン記念特別公演事業について ...	47
	あきた芸術劇場を活用した県内プロアーティスト応援事業について ...	49
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ王国創成事業について	50
	体力づくり医科学支援事業について	53
	県有体育施設整備・改修事業について	54
	あきた元気アッププログラムWEB配信事業	56
	オリンピックレガシーを活用したスポーツの普及事業について ...	57

【議案（条例）関連】

交 通 政 策 課	秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金条例及び由利高原鉄道運営 助成基金条例の一部を改正する条例案について	58
	（議案第71号，議案第72号）	

【現状認識】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い観光産業は大きな打撃を受けており、経済の下支え対策の実施により観光需要の落ち込みは一定程度抑えられたものの、依然として厳しい状況に置かれている。
- また、人口減少が進み、地域経済の活性化に向け、交流人口拡大の重要性が一層高まっている中、観光、文化、スポーツなど、人々の交流がベースとなる多くの分野において、旅行ニーズや行動様式の変化が生じている。
- 加えて、アフターコロナを見据え、SDGsの実現に向けた社会的要請への対応や、進展するデジタル技術を活用した本県の魅力の発信力強化といった取組の加速化が求められている。

【取組方針】

- 落ち込んだ観光需要の回復に向け、引き続き、観光・交通事業者などに対する支援を行う。
- 価値観の変化による新しい旅行ニーズや行動様式への対応、デジタル技術の効果的な活用等により、賃金向上につながる「稼ぐ」観光産業への転換を進めるとともに、地域に根ざした食や文化資源、スポーツなど、多種多様な分野と観光との連携・融合による、交流人口の拡大を図る。
- あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信や、多様なスポーツ活動の促進、利便性の高い交通ネットワークの形成など、デジタル技術を効果的に活用しながら、地域の活性化と交流拡大の基盤となる取組を推進する。

コロナ禍を契機とした大変革の時代に、攻めの観光・交流を推進

★印は表中の取組のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を予定し、県内経済の下支えや感染症収束後を見据えた経済活動の回復等を図るもの。

デジタル技術等を活用した稼ぐ観光産業への転換

「何度でも訪れたくなるあきた」の創出

◆自立した稼ぐ観光エリアの形成

- ・生産性向上を図る宿泊事業者のシステム導入や施設整備等への支援★
- 【新】・デジタル技術等の活用による観光エリアの課題解決に向けた取組への支援★



◆ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開

- 【新】・秋田県観光デジタル情報プラットフォームの構築に向けた実証事業の実施★
- ・デジタルマーケティングの分析を踏まえたターゲット設定とプロモーションの実施★
- ・北東北三県大型観光キャンペーン等、観光団体が連携した取組による誘客の促進



魅力的な「食」の開発と販路拡大

◆消費者ニーズを捉えたオリジナル商品の開発と秋田の「食」のブランド化

- 【新】・大豆種皮等の県産低利用資源を活用したヘルスケア商品開発等への支援★



◆多様な流通チャネルを活用した県産食品の販売の促進

- 【新】・県内地域商社の共同配送の取組や大学等と連携した海外販路開拓などによる輸出促進
- ・首都圏、大阪、福岡での県産食品、観光のPRとヘルスケア食品関連企業等と連携した「食・美・健康」をテーマとする販売イベント等の実施★



交流と地域活性化の基盤となる取組の推進

文化芸術の拠点からの発信強化

◆あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり

- 【新】・グラントオープン記念特別公演や県民・市民参加によるミュージカル等の開催

- 【新】・県内プロアーティストのステージイベント等の実施★

- 【新】・民俗芸能・祭事をテーマとしたノンヴァーバル（非言語型）パフォーマンスステージの制作

活気あふれるスポーツ立県あきたの推進

◆スポーツ活動を支える人材の育成と環境の整備

- 【新】・新体育館の整備に向けた基礎調査の実施

◆ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進

- 【新】・運動教室のWEB配信による運動機会の創出★



◆全国・世界で活躍できるアスリートの発掘と育成・強化

- 【新】・女性アスリートと指導者の育成 ・“チームAKITA”によるジュニア層の育成・強化

交通ネットワークの充実

◆航空路線の維持・拡充

- 【新】・大館能代空港3往復運航の定着に向けた取組の強化★
- 【新】・航空需要の速やかな回復に向けた利用促進策の実施★

◆幹線鉄道の整備の促進

- ・秋田新幹線新仙岩トンネル整備計画の確実な進捗

◆フェリー航路の活性化

- 【新】・貨物輸送のモーダルシフトや県民等のフェリー旅行の促進★



◆利便性の高い地域公共交通網の形成

- 【新】・体験型説明会等による乗務員等の担い手の確保★
- 【新】・メティアの活用等による利用の喚起★
- ・オープンデータ化の定着やキャッシュレス化等デジタル技術を活用した取組への支援★



観光と多分野との連携・融合による交流の拡大

時代の変化を捉えた秋田ならではのツーリズムの推進

- ・新しい旅行スタイルに対応したコンテンツ商品化の支援★
- ・地域資源を活用した教育旅行など持続可能な観光の推進
- 【新】・ナイトタイムコンテンツを活用した誘客の促進★



食・文化・スポーツによる交流拡大

◆秋田の「食」の魅力発信と誘客への活用

- ・魅力的な「食」の発掘・開発とSNS等による情報発信



◆文化芸術やスポーツを通じた交流人口・関係人口の拡大

- 【新】・小中高生とプロの楽団員との交流や日露交歓コンサートの開催
- 【新】・劇団の全国公演を活用した秋田ならではの文化情報の発信★
- 【新】・オリンピックレガシーを活用したホストタウンによる交流を推進
- ・スポーツ大会等の開催支援やスポーツ合宿の誘致

三セク鉄道と沿線の魅力をフル活用

◆第三セクター鉄道の持続的な運行と観光利用の促進

- ・イベント観光列車の改装や沿線の観光コンテンツを生かした誘客への支援★

観光関連産業の下支え、活性化

- 【新】・県内在住者を対象とした宿泊代金等の割引と地域限定クーポン券の発行（R3.2月補正 あきた春割事業）
- ・バス・タクシー・三セク鉄道の貸切利用割引等への支援による利用の喚起★

宿泊施設生産性向上支援事業について

観光戦略課

1 目 的

宿泊事業者による経営の効率化やアフターコロナを見据えた新たな需要への対応を支援し、県内宿泊施設の生産性の向上を図る。

2 概 要

(1) 宿泊施設生産性向上支援事業費補助金 150,285千円

宿泊事業者が行う経営効率化に向けたシステムの導入や付加価値の高い宿泊サービスの提供に向けた施設整備等に必要な経費を助成する。

- ・対 象 事 業：①デジタル技術の活用による経営効率化等のためのシステム導入
②高価格帯宿泊プランや長期滞在型プランなど、付加価値の高い宿泊サービスの提供に向けた施設整備

・補 助 率：2/3

・補助上限額：① 500万円

②1,000万円

・補 助 要 件：外部コンサルタントの導入
数値目標の設定 等

(2) 宿泊施設生産性向上セミナー等開催事業 3,929千円

宿泊施設における生産性の向上に向け、県内宿泊事業者等を対象としたセミナーを開催する。

・対 象 者：宿泊事業者、観光関連企業・団体、市町村の担当者 等

・時 期：令和4年5月～6月

・場 所：県内3か所（県北・県央・県南）

・内 容：セミナー講師による講義
県内の先進事例の紹介 等

・委 託 先：(一社)秋田県観光連盟（予定）

3 予算額 154,214千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) 宿泊施設生産性向上支援事業費補助金 150,285千円

内 訳	・ 報償費	40千円
	・ 旅 費	94千円
	・ 需用費	60千円
	・ 役務費	13千円
	・ 使用料及び賃借料	78千円
	・ 負担金補助及び交付金	150,000千円

(2) 宿泊施設生産性向上セミナー等開催事業 3,929千円

内 訳	・ 報償費	100千円
	・ 旅 費	118千円
	・ 需用費	2千円
	・ 委託料	3,622千円
	・ 使用料及び賃借料	87千円

観光施設魅力向上事業について

観光戦略課

1 目 的

県有観光施設における利用者の安全・安心の確保及び新型コロナウイルス感染症対策や感染症収束後を見据えた魅力向上のための改修等を行い、誘客促進を図る。

2 概 要

(単位：千円)

施 設 名	事 業 内 容	予算額
秋田ふるさと村	・ 郷土料理館等屋根修繕	36,265
	・ 屋外広場誘客促進環境整備	29,890
	・ ドーム劇場ワイヤレス音響設備更新	13,724
男鹿水族館	・ 教育利用等誘客促進エリア整備	148,830
	・ 冷温水発生機更新	51,263
	・ 非常用自家発電機更新 (実施設計のみ)	3,672
	・ 中央監視装置更新 (基本設計のみ)	324
田沢湖スキー場	・ 銀嶺クワッドリフト支えい索更新	35,530
	・ かもしかクワッドリフト支えい索等更新	31,086
	・ かもしかハウス屋根修繕	5,587
十和田ホテル	・ 空調設備室外機等更新	20,455
	・ ボイラー及び全自動操作盤取替修繕	2,010
サンルーラル大潟	・ 地下ピット土間配管改修	14,535
フォレストタ鳥海	・ エレベーター改修	51,971
	・ 照明制御設備更新	19,737
秋の宮山荘	・ 電気設備更新修繕	2,400
	・ 自動制御設備等更新 (実施設計のみ)	1,137
宮沢海岸AC	・ サニタリー棟流し台給水管修繕	880
田沢湖AC	・ フリーサイト土壌修繕	1,320
	・ 木柵修繕	590

3 予算額

471,206千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

内 訳	・ 旅 費	47千円
	・ 需用費	73,938千円
	・ 委託料	195,130千円
	・ 工事請負費	202,091千円
委託料の内訳		
	・ 屋外広場誘客促進環境整備 (秋田ふるさと村)	29,890千円
	・ 教育利用等誘客促進エリア整備 (男鹿水族館)	148,830千円
	・ 各施設修繕設計費 等	16,410千円

観光連携団体共同事業について

観光振興課

1 目 的

旅行形態や観光ニーズの多様化を踏まえ、効率的かつ効果的に誘客を促進するため、北東北三県の自治体や交通事業者等との連携強化を図り、ターゲットを絞った誘客対策を実施する。

2 概 要

(1) 北東北三県観光立県推進協議会負担金 11,011千円

北東北三県とＪＲ東日本等の連携による「北東北三県大型観光キャンペーン」を実施し、首都圏等からの誘客を図る。

- ・開催期間：令和４年７月～９月
- ・事業内容：世界遺産、夏祭り、歴史・文化、自然・絶景、酒・食をテーマとした特別企画の実施と旅行商品の造成
- ・実施主体：北東北三県観光立県推進協議会（構成員：北東北三県、各県観光連盟・協会、ＪＲ東日本秋田・盛岡支社、青森支店、日本観光振興協会東北支部）

(2) 冬季誘客イベント支援事業補助金 1,000千円

青森県及び十和田湖周辺自治体、関係団体と共同で取り組むイルミネーションイベントに対して支援を行い、冬季の観光誘客を図る。

- ・開催期間：令和４年１０月～令和５年２月
- ・実施主体：十和田湖冬物語実行委員会（構成員：青森県、秋田県、十和田市、鹿角市、小坂町、一般社団法人十和田湖奥入瀬観光機構等）

(3) 秋田密着型旅行商品開発促進協議会負担金 1,000千円

秋田県への観光客の誘致拡大を図るため、多様な観光資源を生かした着地型旅行商品を開発するとともに、冬季の観光ＰＲなど新たな秋田の魅力を発信する。

- ・事業内容：新たな定番旅行商品の開発
マスコミ関係者、旅行商品販売担当の招聘
- ・実施主体：秋田密着型旅行商品開発促進協議会（構成員：秋田県、ＪＲ東日本秋田支社、秋田県観光連盟）

3 予算額

13,011千円
(負担金補助及び交付金)

1 目 的

SNSやマスメディアなど各種広報媒体の特性を生かし、秋田の魅力を全国に発信するとともに、アニメ・マンガを活用した観光PRを実施することにより、本県の認知度を高め、秋田ファンの一層の拡大を図る。

2 概 要

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大 15,266千円

① 多様なメディアを活用した秋田ファンの創出 1,465千円

統一感のあるデザインによるポストカードを制作するほか、あきたびじょんインスタグラムフォトコンテストを開催する。

② 県ゆかりの人とのネットワーク活用 12,345千円

あきた音楽大使の高橋優氏とタイアップし、秋田の魅力を伝える冊子を作成するほか、各大使が秋田の魅力を発信する活動に対して支援を行う。

③ ロケ支援体制の強化 1,456千円

本県のメディアへの取り上げ機会を拡大するため、県外テレビ制作会社等への積極的な売り込みを図るほか、あきたロケ支援ネットワーク会員のスキルアップのための研修を実施する。

(2) アニメ・マンガを活用した誘客促進事業【新規】 6,811千円

秋田県ゆかりのアニメキャラクター等の知名度を生かし、地域の活性化や観光誘客を図るための各種施策を実施する。

3 予算額 22,077千円

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大 15,266千円

内 訳	・ 報償費	251千円
	・ 旅 費	1,327千円
	・ 需用費	100千円
	・ 役務費	117千円
	・ 委託料	12,400千円
	・ 使用料及び賃借料	971千円
	・ 負担金補助及び交付金	100千円

委託料の内訳

・ 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大	100千円
・ 県ゆかりの人とのネットワーク活用	11,700千円
・ ロケ支援体制の強化	600千円

(2) アニメ・マンガを活用した誘客促進事業

6, 8 1 1 千円

内 訳	・旅 費	3 3 3 千円
	・需用費	3 0 千円
	・役務費	3 5 千円
	・委託料	6, 4 1 3 千円

観光による消費拡大緊急対策事業について
(ナイトタイムコンテンツを活用した誘客促進事業【新規】)

観光振興課

1 目 的

観光による消費拡大を図るため、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている花火事業者や酒造事業者等と連携し、ナイトタイムコンテンツの活用による観光誘客を促進する。

2 概 要

新型コロナウイルス感染症の拡大により、夜間の消費活動が著しく落ち込んでいることから、本県の強みである「花火」や「日本酒」など消費拡大につながる地域資源（ナイトタイムコンテンツ）の積極的な活用を図るとともに、新たなコンテンツの造成や磨き上げを行う。

- ・事業例：地域イベントや温泉郷組合等と連携した花火の打上げ
日本酒イベントと連携した県内外からの日本酒ファンの誘客促進
あきた舞妓や秋田民謡を組み込んだ宿泊旅行商品の造成支援 等
- ・委託先：企画提案競技方式により民間事業者の発想も取り入れながら、コンテンツごとに委託先を選定する。

3 予算額

97, 171千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

内 訳	・旅 費	376千円
	・需用費	500千円
	・役務費	100千円
	・委託料	96,195千円

委託料の内訳

・コンテンツ造成費	77,000千円
・旅行商品造成費	6,050千円
・広告費	4,400千円
・事務費	8,745千円

インバウンド回復に向けた誘客促進事業について

観光振興課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド需要の回復を見据え、本県の認知度向上や誘客促進を図るため、市場特性に応じた継続的な情報発信や、海外直行便の運航再開に向けたセールス等を行う。

2 概 要

(1) ターゲットに応じたF I T向け情報発信事業 36,064千円

旅行スタイルの変化に伴い、F I T（個人旅行者）の増加が見込まれることから、市場特性に応じて、SNSや現地イベント等を通じた情報発信を行う。

- ・対象市場：台湾、中国、韓国、タイ
- ・事業内容：Facebook、Weibo、Wechat等を通じた情報発信
観光セミナーの実施や旅行博への出展等を通じた情報発信
人気ブロガーの招請やメディアの活用等を通じた情報発信

(2) 訪日旅行再開を踏まえた旅行商品造成事業 8,334千円

台湾における訪日旅行再開後の早期のツアー造成やチャーター便運航を促進するため、知事によるトップセールスを実施するほか、アフターコロナにおける欧州市場からの誘客に向け、フランスで開催される観光セミナーで本県のPRを行う。

- ・対象市場：台湾、欧州（フランス）
- ・事業内容：知事による台湾の航空会社・旅行会社等へのトップセールス
フランスで開催される観光セミナーでのPR

(3) 直行便誘致リスタート事業 12,690千円

台湾との直行便の運航再開に向け、現地航空会社等との連携イベントや共同広告等を実施する。

- ・対象市場：台湾
- ・事業内容：航空会社と連携したPRイベントの実施や共同広告の掲示

(4) 現地コーディネーター設置事業 10,723千円

対象市場における本県の認知度向上を図るとともに、現地の旅行会社や航空会社等に対し機動的に対応するため、現地コーディネーター等を通じて、情報発信や情報収集を行う。

- ・対象市場：台湾、中国、韓国、タイ
- ・事業内容：現地コーディネーターを通じた継続的な情報収集やセールス

3 予算額 67,811千円

((1)～(3)は地方創生推進交付金)

(1) ターゲットに応じたF I T向け情報発信事業		36,064千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬等 2,350千円 ・報償費 200千円 ・旅 費 2,285千円 ・需用費 70千円 ・役務費 70千円 ・委託料 31,049千円 ・使用料及び賃借料 40千円 	
委託料の内訳		
	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等による情報発信 (台湾、中国、韓国、タイ) 7,766千円 ・現地イベントの実施 (台湾、韓国) 4,241千円 ・ブロガー、メディア等の活用 (台湾、タイ) 13,333千円 ・現地旅行博等への出展 (台湾、中国) 5,709千円 	
(2) 訪日旅行再開を踏まえた旅行商品造成事業		8,334千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 150千円 ・旅 費 4,600千円 ・需用費 100千円 ・役務費 100千円 ・委託料 3,384千円 	
委託料の内訳		
	<ul style="list-style-type: none"> ・トップセールス、観光交流セミナー (台湾、フランス) 3,384千円 	
(3) 直行便誘致リスタート事業		12,690千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 1,800千円 ・委託料 10,890千円 	
委託料の内訳		
	<ul style="list-style-type: none"> ・共同イベントの開催 7,260千円 ・航空会社等と連携した広告掲出等 3,630千円 	
(4) 現地コーディネーター設置事業		10,723千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 400千円 ・役務費 200千円 ・委託料 10,123千円 	
委託料の内訳		
	<ul style="list-style-type: none"> ・現地コーディネーターの設置 (台湾) 2,415千円 ・ " (中国) 3,000千円 ・ " (韓国) 2,975千円 ・ " (タイ) 1,733千円 	

「東北絆まつり2022秋田」開催支援事業について【新規】

観光振興課

1 目 的

東北六県を代表する夏祭りが集結する「東北絆まつり」の開催を支援し、本県への観光誘客を促進する。

2 概 要

「東北絆まつり」の開催を支援するため、その運営経費に対し助成する。

・実施日：令和4年5月28日（土）～29日（日） ※前夜祭27日（金）

・会場：秋田市八橋運動公園内

・事業内容：①ステージイベント（6祭り・県内祭り等）

②6祭りパレードと展示、協賛ブース等

※参加する各県のまつり（予定）

秋田竿燈まつり、青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、

山形花笠まつり、仙台七夕まつり、福島わらじまつり

※秋田市が主催する「これが秋田だ！食と芸能大祭典」を関連イベントとして同時開催

・実施主体：東北絆まつり実行委員会

・構 成 員：青森市、秋田市、盛岡市、山形市、仙台市、福島市
青森ねぶた祭実行委員会、秋田市竿燈まつり実行委員会
盛岡さんさ踊り実行委員会、山形県花笠協議会
仙台七夕まつり協賛会、福島わらじまつり実行委員会
青森商工会議所、秋田商工会議所、盛岡商工会議所
山形商工会議所、仙台商工会議所、福島商工会議所

【参考】	総事業費	223,319千円
	内訳 秋田市負担金	183,294千円
	企業協賛金等	20,025千円
	秋田県補助金	20,000千円

3 予算額

20,000千円
(負担金補助及び交付金)

観光エリア強化支援事業について【新規】

観光振興課

1 目 的

観光エリア等が抱える課題について、最新のデジタル技術等を活用し解決を図るとともに、宿泊施設の食の魅力を磨き上げることにより、エリア全体で収益性を高める仕組みを構築する。

2 概 要

(1) デジタル技術を活用した観光エリア支援事業 30,460千円

各地域が抱える課題について、デジタル技術を活用した解決策を公募するとともに、実証実験を通して、その解決を目指す。

- ・対象事業：主要観光拠点からエリア内周遊を促進させる仕組みの構築
主要ターミナルからの二次アクセス予約システムの構築 等
- ・委 託 先：企画提案コンペにより決定

(2) 食の磨き上げによるお宿の魅力アップ推進事業 15,504千円

アフターコロナにおける県内の宿泊施設の集客力向上を図るため、県産食材を生かした食の磨き上げを行いながら、魅力的な宿泊プランの造成を促進するほか、宿泊施設の食の魅力をアピールする誘客プロモーションを展開する。

- ・対象期間：令和4年4月～11月
- ・委 託 先：宿 泊 プ ラ ン 造 成 … (一社)秋田県観光連盟 (予定)
誘客プロモーション … 企画提案コンペにより決定

3 予算額

45,964千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) デジタル技術を活用した観光エリア支援事業

30,460千円

(委託料)

委託料の内訳

・企画費（実施方針、全体設計）	3,053千円
・現地事前調整費	3,359千円
・公募費・広告費	3,850千円
・実証実験コーディネート費	5,649千円
・実証実験費（300万円×4エリア）	12,000千円
・管理費	2,549千円

(2) 食の磨き上げによるお宿の魅力アップ推進事業

15,504千円

内 訳	・旅 費	94千円
	・需要費	48千円
	・委託料	15,362千円

委託料の内訳

・人件費	2,101千円
・宿泊プラン造成費	5,519千円
・誘客プロモーション費	7,742千円

広域連携による戦略的プロモーション事業について【新規】

観光振興課

1 目 的

広域での観光流動の促進と本県への誘客拡大を図るため、東北各県や東京都等との連携によるプロモーションを展開する。

2 概 要

(1) 東北観光DMP活用事業 10,000千円

東北観光推進機構が構築する東北観光DMP（データマネジメントプラットフォーム）に参画し、東北広域の観光マーケティングデータを一元化して分析することにより、データに裏付けされた戦略を立案し、広域プロモーションを展開する。

- ・連携団体：東北6県、新潟県、仙台市、東北観光推進機構

(2) 東北・新潟広域連携事業 15,288千円

アフターコロナにおける本県を含む東北及び新潟県のインバウンド誘客の拡大を図るため、東北運輸局や東北観光推進機構等と連携した広域プロモーションを展開する。

- ・対象市場：台湾、韓国、タイ、中国、香港、オーストラリア
- ・事業内容：インフルエンサー、メディア招請による情報発信
旅行エージェントの招請による旅行商品の造成促進
現地旅行博への出展によるプロモーション
旅行エージェント向け観光セミナーの開催 等

(3) 東京都連携事業 914千円

東京都及び東北各県等が連携し、東京を起点とした東北周遊ルートのプロモーションを展開する。

- ・対象市場：オーストラリア
- ・事業内容：オンライン広告の掲出、OTAとの連携事業
- ・連携団体：東京都、東北6県、仙台市

3 予算額 26,202千円

内 訳	・旅 費	652千円
	・需用費	100千円
	・役務費	150千円
	・委託料	25,300千円

委託料の内訳

・東北観光DMP活用事業	10,000千円
・東北・新潟広域連携事業	14,500千円
・東京都連携事業	800千円

デジタルデータを活用したターゲット分析・誘客促進事業について

観光振興課

1 目 的

観光マーケティングデータに基づいた効果的・効率的な誘客施策を展開するため、データ分析の共通基盤となる「秋田県観光DMP(データマネジメントプラットフォーム)」構築に向けた実証事業を行うとともに、秋田県公式観光サイト「アキタファン」を活用したデジタルプロモーションを実施する。

2 概 要

(1) 秋田県観光DMP構築に向けた実証事業【新規】 7, 810千円

令和5年度以降に予定している「秋田県観光DMP」の構築に向け、モデル地域における旅行者データの収集・分析等の実証事業を行う。

- ・事業内容：モデル地域における旅行者データ（旅行者の属性、前後滞在地、消費行動等）の収集・分析及び関係者へのフィードバック
データ分析の共通基盤構築に向けた方向性の整理及びスケジュール作成
- ・対象施設：宿泊施設、観光施設等

(2) アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業 13, 120千円

秋田県公式観光サイト「アキタファン」への誘導広告について、ターゲット層を定めてデジタルプロモーションを展開することで、効率的な誘客に結びつける。

- ・事業内容：「アキタファン」へ誘導するバナー広告の配信
配信結果（インターネット上で興味関心を示す層）の分析等
- ・配信対象：国内居住者

3 予算額 20, 930千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) 秋田県観光DMP構築に向けた実証事業 7, 810千円

内 訳	・旅 費	71千円
	・委託費	7, 739千円

(2) アキタファンを活用したデジタルプロモーション事業 13, 120千円

内 訳	・旅 費	38千円
	・需用費	90千円
	・役務費	63千円
	・委託料	12, 914千円
	・使用料及び賃貸料	15千円

委託料の内訳

・企画制作費	4, 950千円
・広告費	7, 964千円

「観光データマネジメントプラットフォーム」を活用した事業イメージ

データ収集

宿泊者データのほか、
既存統計のデータ化も含む

宿泊者情報
(宿泊施設)

▶年齢・居住地・人数など

来場者情報
(観光施設等)

▶年齢・居住地・周遊ルートなど

【県】観光統計

【県】デジタルプロモーション
事業結果

東北を周遊する観光客の
動態データ

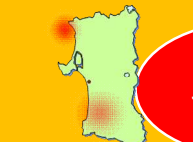
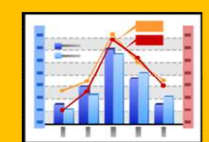
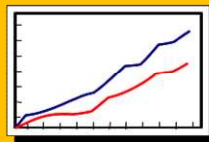
東北各県市の
WEB・SNSデータ

分析

大量のデータから必要な情報を集約し、
一目でわかるように分析

秋田県観光DMP

〈分析イメージ〉



観光DX
アドバイザー

データ連携

東北観光DMP

▶旅行者動態分析
▶WEBアクセス分析
▶公的統計分析

活用

県で活用するとともに観光事業者等にも提供

観光事業者

☑ 経営の効率化や売上アップ

♀ 地域全体と自社の顧客との違いを比較することで、自社の強みを活かした施設整備、雇用、商品の仕入れなどに活かせる。



市町村・DMO

☑ 組織強化、エリアへの集客増

♀ 年代別・属性別の傾向が明確になることで、エリアにおける周遊ルートや旅行商品の開発、プロモーション戦略が立てやすくなる。



県

☑ EBPM（エビデンスに基づく政策立案）の推進
☑ 県全体の集客増、観光消費額増

♀ 政策立案時のエビデンスとしての活用や、ニーズに応じたコンテンツ開発の促進や、より精度の高いデジタルプロモーションが可能となる。



【例】宿泊者情報とデジタルプロモーションの結果から
「実来訪者」と「デジタルプロモーションでのターゲット層」を比較
↓
ターゲット層の見直しやプロモーション手法の最適化が可能になる

宿泊者情報
(宿泊施設)



【県】デジタルプロモーション
事業結果

♀ 東北広域の周遊に対する戦略立案やプロモーションに活かせる。

令和4年度は、秋田県観光DMPの構築に向けてモデル地域におけるデータ収集や分析の実証を行う。
また、その結果をもとに、令和5年度以降のDMP構築に向けた方向性の整理を行う。

発酵の国あきた魅力発信事業について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

本県が誇る発酵食文化を観光コンテンツとして活用し、官民一体となって観光誘客を促進する。

2 概 要

(1) 発酵の郷づくり推進事業 4, 391千円

① あきた発酵ツーリズム誘客戦略会議開催事業 134千円

旅行事業者など発酵ツーリズムに取り組む事業者等により、効果的な誘客促進策を協議する。

② 発酵の郷づくり推進事業補助金 4, 257千円

発酵食文化の拠点施設等を中心として、地域をあげて発酵の郷づくりに取り組む団体等に対し、誘客のためのプロモーション等の活動を支援する。

・補助対象者：観光協会、NPO法人等の民間事業者等

・採 択 件 数：①地域での誘客活動等 1 件

②全国規模の誘客イベント等 1 件

・補 助 率：1／2

・補助上限額：①100万円（地域）

②300万円（全国規模）

(2) 発酵の国あきた誘客促進事業 583千円

令和3年度に制作した「あきた発酵ツーリズムガイドブック」について、新規オープンした施設等の追加など、情報の更新を行う。

(3) あきたの発酵食文化発信事業 3, 175千円

① あきた発酵カレッジの開催 3, 015千円

秋田の発酵食に関する知識を習得するための講座を開講し、発酵食文化の情報発信を担う人材を育成する。

② 発酵ツーリズムウェブサイトの情報追加・保守 160千円

ウェブサイト「本日あきた発酵中。」による発信力の強化を図る。

3 予 算 額

8, 149千円

(地方創生推進交付金)

(1) 発酵の郷づくり推進事業 4, 391千円

① あきた発酵ツーリズム誘客戦略会議開催事業 134千円

内 訳	・ 報 償 費	50千円
	・ 旅 費 等	84千円

② 発酵の郷づくり推進事業補助金	4, 2 5 7 千円
内 訳	
・旅 費 等	2 5 7 千円
・負担金補助及び交付金	4, 0 0 0 千円

(2) 発酵の国あきた誘客促進事業	5 8 3 千円
	(委託料)

(3) あきたの発酵食文化発信事業	3, 1 7 5 千円
-------------------	-------------

① あきた発酵カレッジの開催	3, 0 1 5 千円
内 訳	
・旅 費	7 1 千円
・需用費	1 2 5 千円
・役務費 等	1 9 千円
・委託料	2, 8 0 0 千円

② 発酵ツーリズムウェブサイトの情報追加・保守	1 6 0 千円
	(委託料)

あきた食品産業SDGsモデル推進事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

県内食品製造業界全体においてSDGsの取組を推進し、県産食品のイメージアップと付加価値向上による競争力強化を図る。

2 概 要

(1) あきた食品産業SDGs推進体制整備事業 273千円

県内食品産業界におけるSDGsの理念・取組の普及を図る推進母体として「あきた食品産業SDGs推進会議（仮称）」を設置する。

(2) 美の国あきた発ヘルスケア商品創出・販路開拓事業 9,143千円

米糠、酒粕、大豆種皮など、食品製造過程で生ずる未利用・低利用資源（副産物）を活用したヘルスケア商品の開発や販路開拓等を支援する。

- ・事業内容：①美の国あきた発ヘルスケア商品開発促進事業
 - ・ヘルスケア産業創出に向けた研究会の設置・運営
 - ・低利用資源を用いたヘルスケア商品の開発 等
- ②美の国あきた発ヘルスケア商品販路開拓事業
 - ・展示会への出展 等

(3) 資源循環型酒造りモデル実証事業 3,061千円

清酒造りの過程で発生する酒粕等を原料とした良質堆肥の製造技術確立し、酒米生産現場への普及を図るとともに、地域資源の循環で醸造された清酒のブランド化を図る。

- ・事業内容：酒粕堆肥を用いた酒米栽培実証試験の実施
- 酒粕堆肥利用米を用いた清酒の試験醸造、評価 等

3 予算額 12,477千円

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

(1) あきた食品産業SDGs推進体制整備事業 273千円

内 訳	・ 旅 費	86千円
	・ 需用費 等	67千円
	・ 使用料及び賃借料	120千円

(2) 美の国あきた発ヘルスケア商品創出・販路開拓事業 9, 1 4 3 千円

内 訳	・報 酬 等	2, 0 8 2 千円
	・旅 費	7 6 9 千円
	・需用費	4, 7 6 5 千円
	・役務費	1, 0 2 7 千円
	・委託料	5 0 0 千円

(3) 資源循環型酒造りモデル実証事業 3, 0 6 1 千円

内 訳	・報 酬 等	2 1 7 千円
	・旅 費	4 7 7 千円
	・需用費	1, 7 9 7 千円
	・委託料	5 7 0 千円

オール秋田で世界へ挑戦！産学官連携輸出促進プロジェクトについて【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

地域商社や大学等と連携しながら、本県食品の海外への商流・物流を構築するとともに、展示会への出展やフェア等の開催を通じ輸出の促進を図る。

2 対象国

台湾、中国、フランス、フィンランド、韓国

3 概 要

(1) 地域商社と連携した共同配送事業

12,811千円

県内地域商社と連携して、共同配送など小規模事業者が輸出に取り組みやすい体制を構築するほか、海外での展示会への出品等により販路の拡大を図る。

・事業内容：現地コーディネーターによる販路開拓（台湾）

台湾向け食品の共同配送の実証（台湾）

越境EC向け試飲会等の実施（中国） 等

(2) 大学等と連携した欧州向けブランディング事業

26,220千円

近年、県内の弁当製造事業者が出店するなど、食品製造事業者の関心が高まっている欧州において、県内企業や大学等と連携し、県産食材の認知度向上や販路開拓につながる取組を実施する。

・事業内容：商談会の開催、展示会への出展（フランス）

大学と連携したフランス向け商品の開発（フランス）

現地量販店でのマーケティング調査（フィンランド） 等

(3) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業

1,441千円

北東北三県・北海道ソウル事務所において、日本酒や食品等の共同プロモーションを実施する。

・事業内容：輸入商品展示会等への出展（韓国） 等

4 予算額

40,472千円

(1) 地域商社と連携した共同配送事業 12,811千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 ・需用費 等 ・委託料 	<ul style="list-style-type: none"> 1,000千円 461千円 11,350千円
委託料の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾コーディネーター招聘 ・台湾共同配送事業の実施 ・中国バイヤー招聘 ・中国展示会への出展 	<ul style="list-style-type: none"> 3,000千円 3,000千円 350千円 5,000千円

(2) 大学等と連携した欧州向けブランディング事業 26,220千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 ・需用費 等 ・負担金補助及び交付金 ・委託料 	<ul style="list-style-type: none"> 9,000千円 220千円 3,000千円 14,000千円
委託料の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム秋田プロモーション（フランス） ・県産食材商談会委託（フランス） ・県産食材ニーズ調査（フィンランド） 	<ul style="list-style-type: none"> 5,000千円 7,000千円 2,000千円

(3) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業 1,441千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 ・需用費 等 ・委託料 	<ul style="list-style-type: none"> 251千円 110千円 1,080千円
-----	--	---

あきた「食と観光」魅力発信事業について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

首都圏をはじめとする大消費地において、本県の魅力ある食品や観光資源を広くPRするイベント等を開催し、県産品の需要拡大とアフターコロナを見据えた観光誘客を図る。

2 概 要

(1) 首都圏における食と観光のPR事業 34,220千円

① 「あきたフェア」の開催 15,308千円

都内の商業施設や首都圏のJRターミナル駅などにおいて、食と観光のPRイベントを開催し、秋田の味覚と冬季の観光誘客を図る。

・時 期：令和4年10月～12月（2回）

② 県産酒の販売拡大 18,912千円

ア 「美酒王国あきた」販路拡大事業

本県が誇る清酒、地ビール、ワイン等の商談会・PRイベントを開催し、首都圏における需要拡大と、発酵ツーリズムの周知による観光誘客を図る。

・開 催 場 所：東京都内のホテル

・時 期：令和5年2月（1日間）

イ 県産酒消費喚起キャンペーンの実施

首都圏を中心に県産酒類の需要喚起を図るため、県内蔵元等が連携して実施する特別販売会を支援する。

・補 助 対 象：(株)秋田県酒類卸

・補 助 率：2／3

・補助上限額：600万円

(2) 大阪、福岡における食と観光のPR事業 12,155千円

① 大阪における秋田フェアの開催 9,855千円

現地の県産品取引事業者等と連携した食と観光PRのフェアを開催し、関西圏での県産品の販売促進と観光誘客を図る。

・開 催 場 所：大阪市内百貨店等の仮設店舗

・時 期：令和4年9月～12月（2週間程度）

・内 容：県産品の販売

観光PRコーナー（観光PR映像放映 等）

② 九州での秋田地酒フェアの開催 2, 300千円

本県オリジナルの酒米や酵母を使用した清酒が試飲できるコーナーを「みちのく夢プラザ」内に期間限定で設置し、九州地区での県産清酒の需要拡大を図る。

- ・開催場所：北東北三県アンテナショップ「みちのく夢プラザ」
- ・時期：令和5年1月（1週間程度）
- ・内容：県産酒の試飲販売 等

(3) 県関係企業と連携した食と観光のPR事業 12, 428千円

コロナ禍以降、消費者の「健康」嗜好が一層高まっていることから、県内及び首都圏の県関係企業や県内のヘルスケア食品関連企業、菓子製造事業者等と連携し、「食・美・健康」をテーマにした展示・販売イベント等を実施する。

① 「あきた食・美・健康フェア」の開催 6, 902千円

- ・開催場所：秋田市内
- ・時期：令和4年11月（2日間）
- ・内容：機能性食品や健康に配慮したスイーツの展示販売
健康セミナーの実施 等

② 京急グループと連携したフェアの開催 5, 526千円

- ・開催場所：首都圏（京急百貨店、関連量販店等）
- ・時期：令和4年10月～11月
- ・内容：健康に配慮した新開発スイーツの展示販売
「食・美・健康」をキーワードとしたセミナーの実施 等

3 予算額 58, 803千円

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

(1) 首都圏における食と観光のPR事業 34, 220千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費 1, 440千円 ・需用費 650千円 ・役務費 630千円 ・負担金補助及び交付金 6, 000千円 ・委託料 25, 500千円
-----	---

委託料の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・あきたフェア開催（4契約） 13, 500千円 ・県産酒商談会開催（1契約） 12, 000千円 <ul style="list-style-type: none"> 会場借上料 5, 800千円 ガイドブック制作費 2, 200千円 イベントPR費 2, 000千円 諸経費 350千円 企画運営費 1, 650千円
--------	---

(2) 大阪、福岡における食と観光のPR事業 12, 155千円

内 訳	$\left(\begin{array}{l} \cdot \text{旅 費} \\ \cdot \text{需用費 等} \\ \cdot \text{委託料} \end{array} \right)$	525千円
		530千円
		11, 100千円

委託料の内訳

$\left(\begin{array}{l} \cdot \text{大阪あきたフェア開催} \\ \cdot \text{秋田地酒フェア開催 (九州)} \end{array} \right)$	9, 600千円
	1, 500千円

(3) 県関係企業と連携した食と観光のPR事業 12, 428千円

内 訳	$\left(\begin{array}{l} \cdot \text{旅 費} \\ \cdot \text{需用費 等} \\ \cdot \text{委託料} \end{array} \right)$	467千円
		461千円
		11, 500千円

委託料の内訳

$\left(\begin{array}{l} \cdot \text{あきた食・美・健康フェア開催} \\ \cdot \text{配布用ガイドブック増刷等} \\ \cdot \text{京急フェア開催} \end{array} \right)$	5, 940千円
	500千円
	5, 060千円

航空需要回復・新規開拓事業について【新規】

交通政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大により落ち込んだ航空利用の速やかな回復を図るとともに、大館能代空港の3往復運航の定着に必要な新規の航空需要を開拓するため、利用促進策を重点的に実施する。

2 概 要

(1) 大館能代空港3往復運航定着化事業 372,000千円

① 空港乗継利用重点圏域プロモーション 22,000千円

大館能代空港からの乗継利便性が高い空港圏域を対象に、秋田空港と合わせた誘客プロモーションを行うとともに、乗継モデルコースの提案や旅行商品の造成を連動して行い、新たな航空需要を創出する。

- ・対象圏域：小松空港、広島空港、宮崎空港圏域などを想定
- ・事業内容：誘客の牽引モデルとなる乗継旅行商品の造成
対象圏域における誘客プロモーションの実施
旅行会社等への羽田空港乗継モデルコースの提案や情報発信

② 空港利用促進キャンペーン 350,000千円

大館能代空港の東京羽田線の利用者を対象に、航空運賃の一部をキャッシュバックするキャンペーンを実施する。

- ・対 象 者：大館能代空港東京羽田線の利用者
※旅費が支給されるビジネス利用やマイレージ等による無償利用は対象外
- ・助 成 額：最大5,000円／片道
- ・助成人数：延べ6万人
- ・実施期間：令和4年6月～7月、令和4年11月～令和5年2月（予定）

(2) 航空需要早期回復事業 109,300千円

① 旅行商品造成支援 39,300千円

県内空港を利用する多様な旅行商品の造成に対して助成する。

【大館能代空港】

- ・同空港を利用する旅行商品の造成に対し、3便目利用や冬期催行、第三セクター鉄道利用等のオプション設定に応じて5万円～60万円／商品を助成
- ・加えて、当該旅行商品が乗継利用を含む個人向け旅行商品の場合、催行人数に応じて最大50万円／商品を助成

【秋田空港】

- ・乗継利用を含む個人向け旅行商品の造成に対し、催行人数に応じて最大50万円／商品を助成（秋田空港利用促進協議会が実施予定の助成を受けている旅行商品に限る）

② 航空会社等と連携した乗継利用促進 70,000千円

航空会社等と連携し、乗継利用や航空需要が落ち込む冬期間などを対象に、県内空港路線の利用拡大に向けた割引クーポンの発行やマイル山分けキャンペーンなどを実施する。

・秋田空港関連事業 42,000千円

・大館能代空港関連事業 28,000千円

3 予算額 481,300千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) 大館能代空港3往復運航定着化事業 372,000千円

内 訳

・旅 費	1,000千円
・負担金補助及び交付金	371,000千円

負担金補助及び交付金の内訳

・乗継旅行商品造成委託費等	21,000千円
・キャッシュバック原資	300,000千円
・事務費、広告宣伝費等	50,000千円

(2) 航空需要早期回復事業 109,300千円

(負担金補助及び交付金)

負担金補助及び交付金の内訳

・キャンペーン原資	55,000千円
・旅行商品造成支援原資	39,100千円
・事務費、広告宣伝費等	15,000千円
・旅 費	200千円

〈 参 考 〉 空港ごとの予算内訳

・秋田空港関連分 58,000千円

・大館能代空港関連分 423,300千円

フェリー航路活性化・モーダルシフト推進事業について【新規】

交通政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用が落ち込んだフェリー秋田航路の活性化を図るため、フェリーを活用した貨物輸送へのモーダルシフトやマイカー等による旅客利用を促進する。

2 概 要

(1) フェリーを活用したモーダルシフト促進事業 23,000千円

① トレーラーシャーシ導入促進事業 20,000千円

貨物の無人航送に必要なトレーラーシャーシの購入費用の一部を助成する。

- ・ 補助対象者：県内に事業所を有する運送事業者等
- ・ 要件：主として秋田港発着の貨物輸送に利用すること
- ・ 補助率：1／2（1台当たり上限400万円）

② 新規需要開拓・効果検証事業 3,000千円

秋田港から新たな貨物を輸送する事業者に対し、輸送経費の一部を助成する。

- ・ 補助対象者：運送事業者、荷主
- ・ 要件：秋田港から新規の貨物をフェリー輸送すること
他の輸送手段から変更し秋田港からフェリー輸送すること
- ・ 補助率：1／2（1台当たり上限3万円、1事業者当たり上限30万円）

(2) フェリー旅行促進事業 5,550千円

① 観光誘客促進事業 2,200千円

フェリーを利用する旅行商品の造成への支援や寄港地等における誘客プロモーションを行う。

- ・ 助成額：基本額10万円／商品
県内宿泊や県内の第三セクター鉄道利用などのオプションの設定に応じて最大20万円まで拡大
- ・ 要件：秋田航路を利用し、県内観光地を訪問すること
- ・ 助成件数：15件程度
- ・ プロモーション：北海道、新潟等で実施

② 県民利用促進事業 3,350千円

県内メディアを活用しフェリー旅行の魅力を発信するとともに、マイカー利用運賃の一部を割引する秋田港発旅行商品の造成を支援する。

3 予算額 28,550千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)
(負担金補助及び交付金)

地域公共交通の維持・活性化対策関連予算について

交通政策課

1 目 的

住民生活や地域社会の維持に必要なバス路線等の運行を支援するとともに、コロナ禍の長期化等に伴う地域公共交通の課題への対応に取り組み、本県の地域公共交通の維持・活性化を図る。

2 概 要

(1) 地方バス路線維持事業 78,768千円

広域的・幹線的なバス路線を維持するため、バス事業者に対し、運行経費の一部を国と協調して補助する。

- ・補助対象者：運行経費（20系統）、車両減価償却費（3両）
- ・補 助 率：国1／2（事業者への直接補助）、県1／2

(2) 生活バス路線等維持事業 197,466千円

地域内の生活交通を確保するため、市町村に対し、運行経費の一部を補助する。

① 生活バス路線維持費等補助 67,352千円

- ・補助対象者：市町村が助成する生活バス路線（60系統）
- ・補 助 率：県1／2、3／8、1／8（乗車密度※により3段階に区分）

※ 起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

② マイタウン・バス運行費等補助 54,398千円

- ・補助対象者：市町村が運営するコミュニティバスや乗合タクシー等（137系統）
- ・補 助 率：県1／2、1／4（乗車密度により2段階に区分）

③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助 75,716千円

- ・補助対象者：市町村が運営するコミュニティバス等で国の地域内フィーダー系統補助金の対象となっているもの（108系統）
- ・補助条件・額：運行経費の欠損額の1／2より国庫補助上限額が下回った場合にその差額を補助

(3) 地域公共交通維持・活性化事業【新規】 19,613千円

コロナ禍により深刻化している乗務員等の不足や公共交通離れなどの課題の解消に向けた取組を実施する。

〔実施内容〕

- ・乗務員等の確保に向けたバス運転体験会や三セク鉄道を含む職場見学・体験会等の実施
- ・地域公共交通の利用喚起を目的として実施予定の県・市町村・交通事業者等による合同キャンペーンのPR

3 予算額 295,847千円
((3) は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) 地方バス路線維持事業 78,768千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 生活バス路線等維持事業 197,466千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 地域公共交通維持・活性化事業 19,613千円
(委託料)

委託料の内訳

・体験会等開催費	2,915千円
・広告宣伝費	15,486千円
・管理費	1,212千円

【参考】バス補助制度の概念図

運営主体	バス事業者		市町村	バス事業者・市町村
運行形態	乗合バス		コミュニティバス、乗合タクシー、自家用有償 等	
補助制度 乗車密度	地方バス (＝地域間幹線系統)	生活バス	マイタウン・バス	地域内フィーダー系統
5人以上	国1/2 県1/2 (全額補填)	県1/2 市町村1/2	県1/2 市町村1/2	国&県1/2 市町村1/2
3人以上5人未満	国1/2 県1/2 (乗車密度に応じてカット)	県3/8 市町村3/8		
1人以上3人未満 (市町村をまたぐ系統)		県1/8 市町村5/8		
1人以上3人未満 (市町村内完結系統)		市町村が独自に支援する場合あり		
1人未満				

秋田内陸縦貫鉄道関連予算について

交通政策課

1 目 的

秋田内陸線の安全運行と安定的な運営を支援するため、設備整備等に対して補助するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概 要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 418,100千円

鉄道の安全対策に係る設備整備等に対して補助する。

- ・設備投資：列車集中制御装置更新、レール交換等（国1／3※、県2／3）
仙北市「中村踏切」整備（国1／2※、県1／4、仙北市1／4）
※会社へ直接補助
- ・維持修繕：車両修繕、車両検査、道床補充等（県1／2、基金1／2）

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 64千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため設置している基金に、基金運用益（受取利息）を積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円

会社運営に必要な費用の一部を補助する。

- ・補 助 額：＜県＞5,000万円
＜北秋田市、仙北市、上小阿仁村＞計1億5,000万円

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,485千円

① 三セク鉄道利用促進事業 2,085千円

沿線市や会社、商工団体等で構成する「秋田内陸地域公共交通連携協議会」へ負担金を支出し、県内外へのPRや学校行事への利用促進などを支援する。

② 「秋田内陸線の旅」制作事業 1,400千円

沿線市や大館市、弘前市等で構成する「秋田内陸線・奥羽北線沿線連絡協議会」へ負担金を支出し、首都圏における観光情報の発信などを支援する。

3 予算額 471,649千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 418,100千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 64千円 (積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円 (負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 3,485千円

内 訳

・旅 費	170千円
・負担金補助及び交付金	3,315千円

【参考】

秋田内陸縦貫鉄道の経営状況について

1 令和3年4月～令和3年12月までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月）

(単位：人)

区 分	2 年度	3 年度	増減	備考
定 期	79,431	79,784	353	前年比 100.4%
定 期 外	63,987	62,874	△ 1,113	〃 98.3%
合 計	143,418	142,658	△ 760	〃 99.5%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月）

(単位：千円)

区 分	2 年度	3 年度	増減	備考
定 期	18,990	18,750	△ 240	前年比 98.7%
定 期 外	44,622	45,089	467	〃 101.0%
運輸雑収入	1,755	24,216	22,461	〃 1,379.8%
合 計	65,367	88,055	22,688	〃 134.7%

2 令和3年度決算見込み

コロナ禍の長期化による鉄道収入の減少に加え、動力費等の増加により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：千円)

区 分		2 年度	3 年度	増減	主な要因
収 入	鉄 道 収 入	78,375	102,852	24,477	
	定 期	22,862	22,487	△ 375	
	定 期 外	52,655	55,609	2,954	
	運 輸 雑 収 入	2,858	24,756	21,898	事故車両保険金
	関 連 事 業 収 入	38,801	37,790	△ 1,011	
	受 託 事 業 収 入	15,984	13,557	△ 2,427	受託事業の減
	営 業 外 収 入	207,966	218,218	10,252	
	収 入 合 計 ①	341,126	372,417	31,291	
費 用	人 件 費	192,843	214,931	22,088	社員の欠員補充
	除 雪 費	16,076	20,000	3,924	除雪経費の増
	修 繕 費	182,052	202,537	20,485	事故車両修繕費
	動 力 費	23,366	35,547	12,181	燃料単価の上昇
	関 連 事 業 原 価	21,629	20,293	△ 1,336	
	受 託 事 業 費	13,112	13,157	45	
	そ の 他 経 費 等	76,206	81,345	5,139	保険料の増など
	費 用 合 計 ②	525,284	587,810	62,526	
経常損益 ①－②		△ 184,158	△ 215,393	△ 31,235	

由利高原鉄道関連予算について

交通政策課

1 目 的

鳥海山ろく線の安全運行と安定的な運営を支援するため、設備整備等に対して補助するとともに、利用促進に向けた取組を行う。

2 概 要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 95,271千円

鉄道の安全対策に係る設備整備等に対して補助する。

- ・設備投資：橋梁補修、マクラギ交換、踏切設備更新等（国1／3※、県2／3）
※会社への直接補助
- ・維持修繕：車両検査、車輪交換、軌道修繕等（県1／2、基金1／2）

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 24千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため設置している基金に、基金運用益（受取利息）を積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円

会社運営に必要な費用の一部を補助する。

- ・補 助 額：＜県＞1,800万円
＜由利本荘市＞令和3年度経常損失額一県補助額

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 750千円

由利本荘市や会社、商工団体等で構成する「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を支出し、旅行会社への営業活動やパンフレットの作成などを支援する。

3 予算額 114,045千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 95,271千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 24千円 (積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円 (負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 750千円 (負担金補助及び交付金)

【参考】

由利高原鉄道の鉄道事業の経営状況について

1 令和3年4月～令和3年12月までの輸送状況

(1) 輸送人員の状況（4月～12月）

(単位：人)

区 分	2年度	3年度	増減	備考
定 期	68,662	102,292	33,630	前年比 149.0%
定 期 外	34,266	29,841	△ 4,425	〃 87.1%
合 計	102,928	132,133	29,205	〃 128.4%

(2) 鉄道収入の状況（4月～12月）

(単位：千円)

区 分	2年度	3年度	増減	備考
定 期	11,507	11,583	76	前年比 100.7%
定 期 外	15,893	13,444	△ 2,449	〃 84.6%
運輸雑収入	91	99	8	〃 108.8%
合 計	27,491	25,126	△ 2,365	〃 91.4%

2 令和3年度決算見込み

コロナ禍の長期化による鉄道収入の減少に加え、動力費等の増加により、経常損失額は前年度を上回る見込み。

(単位：千円)

区 分		2年度	3年度	増減	主な要因
収 入	鉄 道 収 入	33,493	32,403	△ 1,090	
	定 期	13,192	13,153	△ 39	
	定 期 外	20,181	19,138	△ 1,043	
	運 輸 雑 収 入	120	112	△ 8	
	関 連 事 業 収 入	21,454	9,981	△ 11,473	受託事業の減
	営 業 外 収 入	13,595	17,077	3,482	
	収 入 合 計 ①	68,542	59,461	△ 9,081	
費 用	人 件 費	96,101	95,958	△ 143	
	除 雪 費	1,664	2,115	451	
	修 繕 費	8,558	6,623	△ 1,935	
	動 力 費	7,346	11,595	4,249	燃料単価の上昇
	関 連 事 業 原 価	15,221	5,394	△ 9,827	受託事業の減
	そ の 他 経 費 等	35,366	37,988	2,622	保険料の増など
	費 用 合 計 ②	164,256	159,673	△ 4,583	
経常損益 ①－②		△ 95,714	△ 100,212	△ 4,498	

新たなモビリティサービス導入支援事業について

交通政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響による利用減からの転換を図るため、乗合バス等の運行情報を確認できるシステムの構築や運賃支払いのキャッシュレス化など、デジタル技術の導入により地域公共交通の利便性向上につながる取組を支援する。

2 概 要

(1) 地域公共交通情報デジタル化推進事業 11,406千円

- ① 交通事業者等とデジタル化に向けた今後の取組について協議を行う。
- ② 交通事業者等を対象にバスロケーションシステムの普及を目指した講座を開催する。
- ③ バス運行情報を発信するディスプレイを県内3箇所に設置し、効果等を検証する実証試験を実施する。

(2) 乗合バスキャッシュレス化推進事業【新規】 98,658千円

乗合バスへの交通系ICカード導入経費の一部を補助する。

- ・補助対象者：秋北バス（株）
- ・開始時期：令和5年3月（予定）
- ・対象経費：大館・花輪・米内沢営業所管内で運行される乗合バス100両に係る機器導入、ネットワーク整備、システム使用料等
- ・補助率：国1/3、県1/3（国の補助は直接事業者へ交付）

(3) バスロケーションシステム導入支援事業【新規】 2,756千円

乗合バスへのバスロケーションシステム導入経費の一部を補助する。

- ・補助対象者：秋北バス（株）
- ・開始時期：令和5年3月（予定）
- ・対象経費：県北の一部路線で運行される乗合バス29両に係る導入費用
- ・補助率：1/2

3 予算額 112,820千円

((1) ①②を除き、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(1) 地域公共交通情報デジタル化推進事業 11,406千円

内 訳	・ 報償費	224千円
	・ 旅 費	120千円
	・ 需用費	40千円
	・ 使用料及び賃借料	24千円
	・ 負担金補助及び交付金	10,998千円

(2) 乗合バスキャッシュレス化推進事業 98,658千円 (負担金補助及び交付金)

(3) バスロケーションシステム導入支援事業 2,756千円 (負担金補助及び交付金)

地域公共交通等新型コロナ対策事業について

交通政策課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者が減少しているバス、第三セクター鉄道及びタクシーについて、観光利用等を喚起するとともに、アフターコロナを見据えた車両整備を支援することにより、事業の維持と地域への誘客拡大を図る。

2 概 要

(1) バス・タクシー利用促進事業 119,156千円

貸切バス及びタクシーの割引利用について、割引分を支援する事業を実施する。

- ・補 助 率：1／2（貸切料金を50％割引）
- ・補助上限額：貸切バス 1日1台当たり75千円
時間制貸切タクシー 〃 30千円

(2) 三セク鉄道ウィズ・アフターコロナ対策事業 25,665千円

① 三セク鉄道安全対策支援金 12,389千円

鉄道収入等が減少する中においても安全・安心な運行が確保されるよう、安全対策に係る経費負担の軽減を目的とした支援金を交付する。

- ・補助上限額：秋田内陸縦貫鉄道(株) 10,186千円
由利高原鉄道(株) 2,203千円

② 団体利用促進事業費補助金 4,290千円

貸切列車の割引利用について、割引分を支援する事業を実施する。

- ・補 助 率：1／4（沿線市からの同額補助と合わせて貸切料金を50％割引）
- ・補助上限額：秋田内陸縦貫鉄道（株） 3,150千円
由利高原鉄道（株） 1,140千円

③ 個人利用促進事業費補助金 8,986千円

フリー切符の購入者を対象に、後日利用できる同等のフリー切符（リピーターチケット）を提供する事業を実施する。

- ・補助上限額：秋田内陸縦貫鉄道（株） 7,271千円
由利高原鉄道（株） 1,715千円

※ ①～③とも、沿線市が同額を補助する。

(3) 三セク鉄道イベント観光列車整備事業

38,010千円

三セク鉄道事業者が実施する、観光利用拡大に向けた車両改装に要する経費を補助する。

・補助対象者：由利高原鉄道（株）

・対象経費：〔YR2001（おもちゃ列車）〕

床補修・敷物張り替え、ボックスシート・テーブル増設等

〔YR2002（現エボルタ号）〕

車体塗装・ラッピング、座席シート張り替え、テーブル更新等

・補助率：10／10



【おもちゃ列車 内装】



【現エボルタ号 外装】

3 予算額

182,831千円

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

(1) バス・タクシー利用促進事業

119,156千円

（負担金補助及び交付金）

(2) 三セク鉄道ウィズ・アフターコロナ対策事業

25,665千円

（負担金補助及び交付金）

(3) 三セク鉄道イベント観光列車整備事業

38,010千円

（負担金補助及び交付金）

秋田版図柄入りナンバープレート導入事業について【新規】

交通政策課

1 目 的

地域振興や観光振興を目的に国が追加募集を予定している「地方版図柄入りナンバープレート」について、「秋田」ナンバーへの導入を図る。

2 概 要

追加募集に当たって国が策定する導入要綱（令和4年4月頃公表の見込み）に基づき、以下のスケジュールにより、県民の意向やニーズ等を踏まえた図柄デザインを作成し、国に提案する。

〔スケジュール（見込み）〕 ※前回募集スケジュールを基に想定

- | | | |
|------|-----|---|
| 令和4年 | 4月～ | ・ 図柄入りナンバープレート導入要綱の公表（国土交通省）
・ 県民アンケート（購入の意向やデザインテーマの希望を確認）
・ 第1回審査会（デザインテーマ決定）
・ デザイン候補の作成（事業者をコンペ方式で決定）
・ 国へ導入意向の表明 |
| | 9月～ | ・ 国へ導入申込み
・ 第2回審査会（デザイン候補3案の選定）
・ デザイン候補を一般投票（3案提示） |
| | 10月 | ・ 第3回審査会（一般投票結果を踏まえデザインを決定） |
| | 11月 | ・ 県民アンケート（需要見込み、図柄への賛否割合等の把握）
・ 国へ図柄提案、国において図柄デザインの審査・認定 |
| 令和5年 | 10月 | ・ 交付開始 |

3 予算額

2, 547千円

内 訳	・ 報償費	300千円
	・ 旅 費	244千円
	・ 需用費	3千円
	・ 委託料	2,000千円

文化芸術がつなぐ交流拡大事業について

文化振興課

1 目 的

秋田ならではの文化を県内外に発信することにより、交流人口の拡大につなげていくため、文化団体等と連携しながら、舞踊・舞踏、伝統芸能など多彩な事業を展開する。

2 概 要

(1) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 10,000千円

「ダンスの聖地秋田」を国内外に広く発信するため、石井漠、土方巽の流れを汲む舞踊・舞踏家を各地から招へいし、コンクールを開催するほか、県内のアーティストや伝統芸能団体等による企画公演等を開催する。

- ・実施時期：令和4年12月
- ・場 所：秋田市
- ・実施主体：『踊る。秋田』実行委員会
- ・総事業費：14,000千円
- ・負担内訳：県4,000千円、国6,000千円、秋田市2,000千円、協賛金等2,000千円

(2) 文化プログラム推進事業費補助金 10,000千円

特色ある文化事業を継続的に展開し、交流人口の拡大に資する取組に対し、開催経費を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助率：2／3
- ・補助上限額：500万円

(3) 文化による地域の元気創出事業費補助金 19,142千円

県内芸術文化活動の活発化や地域の活性化等を図るため、県内の多彩な文化団体等が行う交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組に対し、開催経費を助成する。

- ・補助対象者：文化団体等
- ・補助率：1／2、2／3
- ・補助上限額：40万円、300万円

(4) 秋田の伝統芸能魅力発信事業 15,300千円

県内の多彩な伝統芸能を披露するイベントを開催するほか、地域の祭りの由来や知識等を学び、祭りをつくり上げていく過程等も体験する「お祭り体験ツアー」を実施する。

・実施内容：「あきた2022伝統芸能フェスティバル」の開催

(令和4年10月、男鹿市)

「お祭り体験ツアー」の実施

(令和4年7月～令和5年2月、男鹿市ほか)

・実施主体：県、男鹿市等で構成する実行委員会

・総事業費：18,000千円

・負担内訳：県7,806千円、国7,494千円、男鹿市1,700千円、
協賛金等1,000千円

3 予算額 54,442千円

(1) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 10,000千円

(負担金補助及び交付金)

(2) 文化プログラム推進事業費補助金 10,000千円

(負担金補助及び交付金)

(3) 文化による地域の元気創出事業費補助金 19,142千円

内 訳	・ 報償費	35千円
	・ 旅 費	57千円
	・ 需用費	50千円
	・ 負担金補助及び交付金	19,000千円

(4) 秋田の伝統芸能魅力発信事業 15,300千円

(負担金補助及び交付金)

劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業について【新規】

文化振興課

1 目 的

全国公演を行う劇団のノウハウを活用し、秋田ならではの文化や観光情報を県内外へ発信することにより、アフターコロナにおける誘客を促進する。

2 概 要

(1) 県外公演を活用した秋田の文化発信事業 18,425千円

全国公演を行う劇団を活用し、全国の公演会場等において秋田の文化の魅力を発信する。

- ・委託先：劇団わらび座（予定）
- ・内 容：○県内の祭り・伝統行事等の情報を掲載した秋田の魅力を紹介するパンフレットの作成・配布（3種類×10万部） 10,230千円
○本県文化の魅力を表現した劇仕立てのコンテンツの制作及びその動画の配信（3種類） 5,115千円
○県内各地の文化スポット等を紹介・PRする映像の制作・配信（10種類） 3,080千円

(2) 広域集客型劇場コンテンツ造成事業 27,797千円

国内屈指の劇団のノウハウを生かし、あきた芸術劇場等を活用してインバウンドや県内外からの誘客を図る、東北の伝統芸能や祭りをテーマとしたオリジナルコンテンツを造成する。

- ・委託先：劇団わらび座（予定）

【オリジナルコンテンツの内容等】

年齢・国籍等問わず楽しめるノンヴァーバル（非言語型）のパフォーマンスステージ

- ・上演時間：90分程度
- ・公演会場：あきた芸術劇場「ミルハス」中ホール
- ・制作スケジュール（予定）
 - 令和4年4月～ 脚本制作、音楽・振付制作
 - 令和5年1月～ 稽古開始
 - 令和5年度～ 上演開始

3 予算額 46,222千円

(1) 県外公演を活用した秋田の文化発信事業 18,425千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(委託料)

(2) 広域集客型劇場コンテンツ造成事業 27,797千円

(企業版ふるさと納税)

内 訳	〔	・旅 費	47千円
		・需用費	200千円
		・役務費	50千円
		・委託料	27,500千円
		〕	

委託料の内訳

〔	・脚本料、振付料、音楽料等	10,780千円
	・大道具・小道具・衣装制作料等	16,720千円
		〕

音楽を通じた地域交流活性化事業について【新規】

文化振興課

1 目 的

あきた芸術劇場の開館を契機に、県民が文化芸術に触れ合う機会の確保や将来の本県の文化芸術を担う若手の育成を図るとともに、専門的な知見等を有するプロの演奏家との交流を通じて、県内における文化活動の活発化と地域の活性化を図る。

2 概 要

(1) 音楽活性化アウトリーチ事業

4,783千円

県内の小中高校にプロの楽団員を講師として派遣し、児童・生徒に質の高い音楽に触れてもらう機会を提供し、交流を通じて音楽への興味・関心の喚起を図る。

・事業内容：○小学生、中学生、高校生を対象に各1回ずつ、アウトリーチ（ミニコンサートや演奏指導等）を実施する。（令和4年8月予定）

○上記アウトリーチに参加した児童・生徒等を対象として、あきた芸術劇場小ホールにおいて交流型コンサートを実施する。（令和4年12月予定）

・出演者：東京藝術大学 藝大フィルハーモニア管弦楽団（予定）

(2) 日露交歓コンサート開催事業

3,973千円

世界最高峰の音楽教育機関であり、世界3大音楽院のひとつである「チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院」の卒業生等をはじめとした若手演奏家等によるクラシックコンサートを開催する。

・開催日：令和4年10月（予定）

・会場：アトリオン音楽ホール

3 予算額

8,756千円

(1) 音楽活性化アウトリーチ事業

4,783千円

内 訳	・旅 費	124千円
	・需用費	110千円
	・役務費	30千円
	・委託料	4,050千円
	・使用料及び賃借料	469千円

(2) 日露交歓コンサート開催事業

3,973千円

内 訳	・委託料	1,973千円
	・負担金補助及び交付金	2,000千円

あきた芸術劇場整備事業について

文化振興課

1 目 的

令和4年6月の開館に向けて、引き続き外構工事や備品の受け入れ、埋蔵文化財調査遺物整理作業等を行う。

2 概 要

(1) 継続費設定分 30,000千円

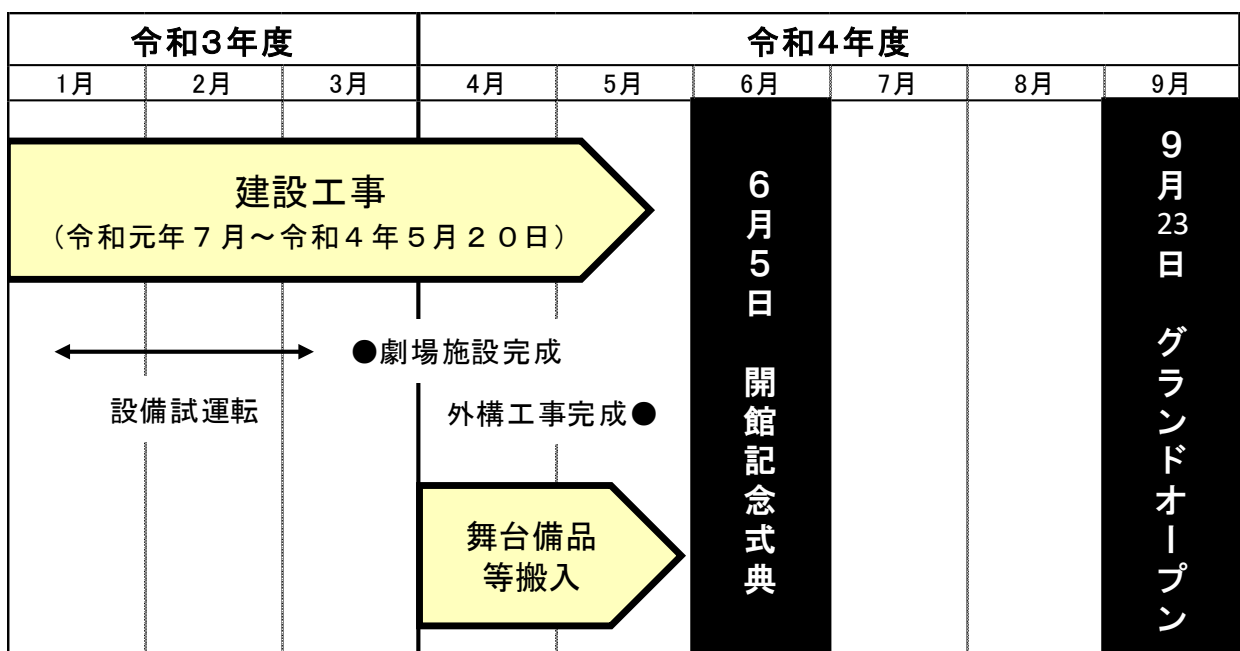
平成30年9月補正予算で設定した継続費（総額 21,328,403千円、設定期間 平成30年度～令和4年度）のうち、令和4年度実施分。

- ・ 本体建設費 25,000千円
- ・ 工事・設計監理費 5,000千円

(2) 単年度計上 508,864千円

- ・ 周辺建物事後調査費 15,092千円
- ・ 整備事務費 2,810千円
- ・ 埋蔵文化財調査費 44,883千円
- ・ 備品購入費（R3債務負担行為設定）446,079千円

3 スケジュール



4 予算額		538,864千円
(1) 継続費設定分		30,000千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 5,000千円 ・工事請負費 25,000千円 	

(2) 単年度計上分		508,864千円
内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 7,567千円 ・職員手当等 1,608千円 ・共済費 1,666千円 ・報償費 160千円 ・旅 費 1,950千円 ・需用費 21,974千円 ・役務費 393千円 ・委託料 43,997千円 ・使用料及び賃借料 1,450千円 ・備品購入費 295,058千円 ・負担金補助及び交付金 133,041千円 	

あきた芸術劇場開館準備事業について

文化振興課

1 目 的

円滑な開館や開館後の適切な施設運営を図るため、管理事務室の開設準備等を進めるほか、秋田駅等において開館をPRするフラッグ等の装飾を行い、グランドオープンに向けた機運醸成を図る。

2 概 要

(1) 開館準備等事業 66,254千円

円滑な開館・施設運営に向けた準備を指定管理者と連携して進めるほか、グランドオープンに向けて開演チャイムや施設案内用ストリートビュー等を制作する。

- ・内 容：○指定管理者による開館準備業務等(チケット販売システムの導入、自主事業の企画、施設のPR活動 等) 53,360千円
- 開演チャイムの制作(大ホール用、中ホール用) 550千円
- 仕込図の作成(実寸位置等) 3,198千円
- 音響関係備品の利用ガイドの作成(中ホール) 2,632千円
- 館内案内用ストリートビューの制作 3,218千円
- 秋田駅や仲小路等での街灯フラッグ等の装飾 3,296千円

(2) 県民会館閉館中助成事業 300千円

県内文化団体等が、これまで県民会館大ホールで開催してきた芸術文化イベントを秋田市外の文化施設で開催する場合に、掛かり増しとなる経費を対象に助成する。

- ・対 象 経 費：大会審査員の宿泊費や交通費、会場周知費用等
- ・補 助 率：10／10
- ・補助上限額：10万円
- ・対 象 期 間：令和4年9月末まで

3 予算額 66,554千円

(1) 開館準備等事業 66,254千円

内 訳	〔・役務費 319千円〕
	〔・委託料 65,935千円〕

(2) 県民会館閉館中助成事業 300千円

(負担金補助及び交付金)

あきた芸術劇場グランドオープン記念特別公演事業について【新規】

文化振興課

1 目 的

開館記念事業として式典を挙げるほか、グランドオープン記念特別公演及び県民参加によるミュージカル公演を行う。

2 概 要

(1) あきた芸術劇場開館記念式典事業 9, 000千円

- ・開催日：令和4年6月5日（日）
- ・会 場：第一部 中ホール（参加約400名）
第二部 大ホール（参加約800名）
- ・内 容：第一部 記念式典、記念公演（演目：県内高校生による郷土芸能）
第二部 記念演奏「大いなる秋田」
〈演奏〉秋田県吹奏楽連盟、〈合唱〉秋田県合唱連盟
〈指揮〉佐々木新平氏（秋田市出身）

(2) あきた芸術劇場グランドオープン記念特別公演事業 23, 771千円

開館を広くアピールするとともに、開館後の利用促進を図るため、記念特別公演を開催する。

- ・開催日：令和4年9月23日（金・祝）
- ・会 場：大ホール
- ・内 容：ピアノとオーケストラによるクラシックコンサート
〈演奏〉新日本フィルハーモニー交響楽団、小山実稚恵氏（ピアノ）
〈指揮〉井上道義氏

(3) あきた芸術劇場県民・市民参加型事業 17, 391千円

開館後の文化芸術活動の振興につなげていくため、開館記念事業として県民参加型のミュージカルを開催する。

- ・開催日：令和5年1月14日（土）、15日（日）
- ・会 場：中ホール
- ・内 容：県民・市民参加型ミュージカル「樗の記憶・蓮のトキメキ」の上演

3 予算額	50,162千円
(1) あきた芸術劇場開館記念式典事業	9,000千円 (委託料)
(2) あきた芸術劇場グランドオープン記念特別公演事業	23,771千円
内 訳	<div> <div>・ 役務費</div> <div>273千円</div> </div> <div> <div>・ 委託料</div> <div>23,498千円</div> </div>
委託料の内訳	<div> <div>・ 公演料等</div> <div>15,328千円</div> </div> <div> <div>・ 広告、印刷費等</div> <div>8,170千円</div> </div>
(3) あきた芸術劇場県民・市民参加型事業	17,391千円 (委託料)
委託料の内訳	<div> <div>・ 脚本、演出料等文芸費</div> <div>4,620千円</div> </div> <div> <div>・ 大道具、小道具制作等舞台費等</div> <div>12,771千円</div> </div>

あきた芸術劇場を活用した県内プロアーティスト応援事業について【新規】

文化振興課

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響で出演の機会が減少している県内在住のプロアーティストの活躍の機会を創出するため、あきた芸術劇場を活用したステージイベント等を開催し、県内における文化活動の振興を図る。

2 概 要

県内文化芸術活動の一端を担うプロアーティスト（音楽、舞踊、演劇等の実演芸術を生業として活動する者）の活動を支援するため、あきた芸術劇場を活用したステージイベント等を行うとともに、その模様を素材としたテレビ番組やウェブサイトでの情報発信等により、アフターコロナに向けた活動意欲の向上につなげる。

- ・内 容：○劇場中ホール等を活用したステージイベントの開催(3回・各5組程度出演)

12,000千円

- 上記イベントを素材としたテレビ番組の制作・放送

4,500千円

- 劇場エントランスロビーを活用した番組PRを兼ねたプレイベントの開催

5,000千円

- 劇場ウェブサイトを活用したプロアーティストの情報発信の支援

1,500千円

- ・委託先：県内の放送局、広告代理店、イベント事業者等

3 スケジュール（予定）

令和4年5月～7月 企画提案公募～選定

〃 8月～9月 アーティスト募集～企画制作

〃 10月～12月 プレイベント開催、イベント開催、番組制作

令和5年1月～3月 番組放映、ウェブサイトでのPR

4 予算額

23,000千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(委託料)

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目 的

「スポーツ立県あきた」の実現に向け、優れた素質を有するジュニア層の発掘に努め、一貫した強化を図るとともに、各競技団体が行う選手強化の取組を支援するほか、トップアスリートの県内就職を促進することなどにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概 要

- (1) スポーツ王国づくり強化事業 207, 209千円
- ① 選手強化対策等への支援 96, 480千円
競技団体が実施する選手強化対策事業に対して補助する。
・補助対象：国体競技41団体（種目別延べ48団体）
- ② スポーツ医科学サポート 16, 083千円
選手に対する医科学サポートを県スポーツ科学センターにおいて実施する。
- ③ 競技力向上対策の実施 92, 452千円
選手の育成・強化のための諸施策や競技団体への指導など、県スポーツ協会と連携した競技力向上対策等を実施する。
・委託先及び補助対象：(公財)秋田県スポーツ協会
- ④ 強化策検討部会の開催 809千円
外部有識者の意見を聞きながら、競技力向上対策の効果を検証するとともに、今後の取組について検討を行う。
- ⑤ 女性アスリート支援事業に向けた委員会の開催【新規】 1, 385千円
外部有識者や本県ゆかりの女性トップアスリートなどによる委員会を設置して、女性アスリート特有の課題を整理し、戦略的に普及・強化策を検討する。
- (2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 8, 783千円
- ① AKITAスーパーわか杉っ子発掘プロジェクト 6, 083千円
ジュニア期から優れた素質を有する選手の発掘・育成・強化を実施する。
・対象競技：フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃
- ② 秋田県タレント発掘合同トライアル 2, 700千円
小・中学生を対象に、自分の競技特性を知るための運動能力測定会を実施するとともに、様々なスポーツに興味を持ってもらうための体験会を開催する。
・委託先：(公財)秋田県スポーツ協会
- (3) チームAKITA強化事業 57, 805千円
- ① チームAKITAジュニアアスリートの強化 30, 420千円
県高校選抜選手に対する定期練習会の開催等により、個々のレベルに応じた強化を通じてジュニア層全体のレベルアップに取り組むほか、上級資格の取得を目指し指導者を養成する競技団体に補助する。
・補助対象：9競技団体

- ② チームAKITAスタートアップ支援【新規】 14,800千円
小中学生及び高校生を対象とした各地区や県全体による合同練習会の開催等により、選手個々のレベルに応じた適切な指導を行う競技団体に補助する。
・補助対象：県内の競技団体（①の9競技団体を除く。）

- ③ 中学生強化選手の指定・育成 11,419千円
将来、国体やインターハイ等で上位入賞が期待できる有望な中学生を強化選手に指定し、ジュニア育成アドバイザーによる競技力向上研修等を実施する。
・委託先：(公財)秋田県スポーツ協会

- ④ 秋田型走力アッププログラムの作成・実践 1,166千円
全国平均に比べて劣っている小学生の走力の向上を図るとともに、競技力の基礎となる運動能力を高めるためのプログラムを作成し、モデル校で実践する。
・委託先：福島大学トラッククラブ

(4) アスリートの競技活動サポート事業 32,774千円

- ① アスリートと企業等のマッチングサポート 5,774千円
県内に就職し競技を続ける意思のあるアスリートと、企業等とのマッチングサポートを実施する。
・実施内容：無料職業紹介事業所及び就職推進アドバイザーの設置（1名）
アスリート就職説明会の開催など
・委託先：(公財)秋田県スポーツ協会

- ② 秋田県トップアスリート正規雇用奨励金 3,000千円
トップアスリートを雇用した企業等に対して、奨励金を支給する。
・支給額：1,000千円×3人

- ③ 秋田県トップアスリート競技活動サポート補助金 24,000千円
企業等が負担するトップアスリートの競技活動経費を補助する。
・補助上限：年2,400千円（R2年度の採用からは1,200千円）
・対象者：13人

(5) スポーツ国際交流員招致事業 4,004千円

（語学指導等を行う外国青年招致事業「JETプログラム」対象事業）

スポーツ国際交流員（SEA）を招致し、専門的な競技指導を行うとともに、スポーツを通じた国際交流を図る。

3 予算額 310,575千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業 207,209千円

内 訳	・人件費（報酬、職員手当等、共済費）	6,324千円
	・報償費	4,165千円
	・旅 費	5,089千円
	・需用費	402千円
	・役務費	1,567千円
	・委託料	88,952千円
	・使用料及び賃借料	718千円
	・負担金補助及び交付金	99,992千円

委託料の内訳

・スポーツ表彰事業費	1, 2 6 9 千円
・県民体育大会事業費	1, 3 8 0 千円
・スポーツ少年団関連事業費	6 5 6 千円
・テクニカルアドバイザー人件費	3 8, 4 2 0 千円
・事務費等	4 7, 2 2 7 千円

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業

8, 7 8 3 千円

内 訳	・報償費	3 2 0 千円
	・旅 費	4, 6 7 6 千円
	・需用費	2 1 6 千円
	・役務費	3 7 1 千円
	・委託料	3, 2 0 0 千円

(3) チームAKITA強化事業

5 7, 8 0 5 千円

内 訳	・報償費	8 4 千円
	・旅 費	1 0 2 千円
	・委託料	1 2, 3 9 9 千円
	・負担金補助及び交付金	4 5, 2 2 0 千円

委託料の内訳

・ジュニア育成アドバイザーの配置	7, 8 5 0 千円
・中学生強化選手育成事業	3, 5 6 9 千円
・秋田型走力アッププログラム事業	9 8 0 千円

(4) アスリートの競技活動サポート事業

3 2, 7 7 4 千円

内 訳	・報償費	3, 0 0 0 千円
	・委託料	5, 7 7 4 千円
	・負担金補助及び交付金	2 4, 0 0 0 千円

(5) スポーツ国際交流員招致事業

4, 0 0 4 千円

内 訳	・人件費（報酬、職員手当等、共済費）	3, 1 7 5 千円
	・旅 費	6 7 8 千円
	・役務費	1 5 千円
	・負担金補助及び交付金	1 3 6 千円

体力づくり医科学支援事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

県民の体力向上や健康の維持増進を図るとともに、アスリートの効果的なトレーニング環境を整備するため、スポーツ科学センターにおいて専用の測定機器による体力診断を実施することにより、医科学的な視点によるサポートを行う。

2 概 要

(1) 体力測定機器等の整備

測定時間や待ち時間による密集・密接を解消し、安心・安全な体力診断を実施するため、測定機器を増設するとともに間仕切用のスクリーンを設置する。

※設置予定機器の概要

- バイオデックスシステム4（多用途筋機能評価運動装置） 1台
子どもから高齢者までの筋機能の成長と加齢による筋機能低下の評価や、スポーツ愛好者からトップアスリートまでの競技別・ポジション別の筋機能特性などの評価を行う。
- インボディ（体成分分析装置） 1台
体成分量、部位別筋肉・体脂肪量、細胞内・外水分量などを測定し、体の栄養状態や健康状態を把握する。
- 全身反応測定器 1台
俊敏性を測定し、素早い動きを要求されるスポーツのほか、日常生活における転倒の危険回避としての動作に活用する。

(2) 体力診断（簡易）の実施

県民を対象に体力診断を実施し、理学療法士等によるアドバイスを行う。

3 予算額

24,439千円

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

内 訳	・ 報償費	432千円
	・ 旅 費	57千円
	・ 需用費	60千円
	・ 役務費	30千円
	・ 備品購入費	23,860千円

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目 的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会の開催に支障がないよう施設設備の整備・改修を実施する。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、換気が適切に行われるよう設備の改修を実施する。

2 概 要

- | | |
|--|-----------|
| (1) 県有体育施設整備改修事業 | 127,339千円 |
| ① 県立体育館 屋根防水工事設計業務委託 | 2,969千円 |
| 経年劣化により、雨漏りが発生している軒樋部分を修繕する。 | |
| ② 県立スケート場 屋根防水工事設計業務委託等 | 8,607千円 |
| 経年劣化により、雨漏りが発生している屋根等を修繕する。 | |
| ③ 県立野球場 エレベーター等修繕 | 18,306千円 |
| 経年劣化により、安全装置などの部品交換が必要なエレベーター等を修繕する。 | |
| ④ 県立武道館 大道場雨漏り等修繕工事 | 36,852千円 |
| 経年劣化により、雨漏りが発生している屋根等を修繕する。 | |
| ⑤ 田沢湖スポーツセンター 自動給水装置等修繕 | 3,637千円 |
| 経年劣化により、故障リスクが高まっている自動給水装置等を修繕する。 | |
| ⑥ 新屋運動広場 監視塔・物置等改修工事 | 18,121千円 |
| 経年劣化により、倒壊の危険性がある監視塔、物置等を改修する。 | |
| ⑦ スポーツ科学センター 避難器具等修繕 | 1,199千円 |
| 経年劣化により、腐食がみられる緩降機等を修繕する。 | |
| ⑧ 大館樹海ドーム 膜屋根点検フック等修繕 | 27,136千円 |
| 経年劣化により、腐食がみられる膜屋根の点検作業用フック等を修繕する。 | |
| ⑨ 能代山本スポーツリゾートセンター 熱交換器等修繕 | 10,512千円 |
| 経年劣化により、水漏れが生じているプール用熱交換器等を修繕する。 | |
| (2) 県有体育施設大規模改修事業 | 504,380千円 |
| ① 県立総合プール 設備大規模改修 | 108,585千円 |
| 経年劣化により、能力低下がみられる熱交換器及びろ材等を更新する。 | |
| ② 県立体育館 天井改修工事 | 395,795千円 |
| 利用エリアの安全を確保するため、膜天井を設置する。 | |
| (3) 県有体育施設安全・安心確保事業 | 139,794千円 |
| ① 県立総合プール 換気窓改修工事 | 10,403千円 |
| 強風により破損した建物の軒天部分にある換気窓について、館内の換気が効果的に行われるよう改修する。 | |
| ② 県立野球場 エアコン改修工事 | 38,815千円 |
| 故障により使用不能となっているEHPエアコンについて、換気設備を適宜併用することで換気を適切に行うことができるよう改修する。 | |

- ③ 県立武道館 換気窓等改修工事 27,986千円
経年劣化により開閉動作部に不具合が生じている大道場の天窓部分にある換気窓等について、開度を広げるなどして換気が効率的に行われるよう改修する。
- ④ 田沢湖スポーツセンター エアコン改修工事 57,830千円
経年劣化により不具合が生じているKHPエアコンについて、換気設備を適宜併用することで換気を適切に行うことができるよう改修する。
- ⑤ 新屋運動広場 空調設備改修 4,760千円
経年劣化により室外機の傷みが激しい事務室等の空調機について、換気機能付き空調設備へ改修する。

(4) 新体育館整備基礎調査【新規】 8,824千円

新体育館整備に係る基本構想の策定に向け、施設の機能・規模、建設候補地の想定等、事業実施の条件の把握・整理等を実施するための基礎調査を実施する。

<調査の概要>

○現状と課題の把握のための調査

- ・施設の現況調査
- ・施設利用者（競技団体ほか関連団体）へのヒアリング
- ・公民連携の官民対話
- ・同種施設事例調査（機能、構造、規模、整備費等資料調査・実地調査）
- ・近時整備・今後整備予定施設に係る基本構想・基本計画調査

○施設に必要な機能・規模（水準）の整理

○整備の基本的な考え（基本方針案）・整備手法・検討課題の整理

○建設候補地検討対象地の想定

（※下線は委託により実施。）

3 予算額 780,337千円

(1) 県有体育施設整備改修事業 127,339千円

内 訳	・需用費	83,096千円
	・委託料	9,101千円
	・工事請負費	35,142千円

(2) 県有体育施設大規模改修事業 504,380千円

内 訳	・需用費	108,585千円
	・委託料	795千円
	・工事請負費	395,000千円

(3) 県有体育施設安全・安心確保事業 139,794千円

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

内 訳	・需用費	6,157千円
	・委託料	7,269千円
	・工事請負費	126,368千円

(4) 新体育館整備基礎調査 8,824千円

内 訳	・旅費	930千円
	・委託料	7,894千円

あきた元気アッププログラムWEB配信事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

コロナ禍においても、運動を中止することなく、いつでも、どこでも気軽に運動ができる環境を充実させることにより、県民のスポーツ活動を促進し、運動習慣の定着を図る。

2 概 要

秋田県スポーツ科学センターが行っている「あきた元気アップ円熟塾※」を活用し、外部講師による健康教室を開催するとともに、Wi-Fi等のウェブ配信環境を整備してライブ配信する。

- ・内 容：秋田県スポーツ科学センターのWi-Fi環境整備
ライブ配信に伴うビデオカメラ等の機材の購入
外部講師を活用した健康教室

※あきた元気アップ円熟塾とは

秋田県スポーツ科学センターで平成17年より開催している健康体操教室のこと。

「ストレッチ」「筋力トレーニング」「有酸素運動」の体操プログラムで構成されている。

3 予算額

2,588千円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

内 訳	・ 報償費	890千円
	・ 旅 費	382千円
	・ 需用費	205千円
	・ 役務費	340千円
	・ 使用料及び賃借料	100千円
	・ 備品購入費	671千円

オリンピックレガシーを活用したスポーツの普及事業について【新規】

スポーツ振興課

1 目 的

東京オリンピック・パラリンピックの開催により、スポーツへの関心が高まっており、これまで取り組んできたホストタウンの活動を大会のレガシーとして活用し、相手国・地域との交流を今後さらに発展させるため、市町村と連携した取組を推進する。

また、中学生を対象としたオリンピック教室等を開催し、オリンピックの精神や価値を伝えるとともに、スポーツの普及を図る。

2 概 要

(1) ホストタウン交流推進事業 7,900千円

県と市町村共同のホストタウン交流計画に基づき、市町村が実施する交流事業を支援する。

- ・補 助 率：1／2
- ・補助上限額：200万円

(2) オリンピック教室開催事業 1,980千円

① オリンピック教室開催費 1,752千円

JOCパートナー協定に基づき、県内の中学校にオリンピックを派遣し、2年生を対象にオリンピック教室を開催し、オリンピックの精神や価値を伝える。

② 県関係アスリート教室 148千円

中学生を対象に秋田県関係トップアスリートによる授業を行い、アスリート自身の競技生活を通して得たことを伝える。

③ 事務費 80千円

3 予算額 9,880千円

(1) ホストタウン交流推進事業 7,900千円

(負担金補助及び交付金)

(2) オリンピック教室開催事業 1,980千円

内 訳	・ 報償費	810千円
	・ 旅 費	1,090千円
	・ 需用費	60千円
	・ 役務費	10千円
	・ 使用料及び賃借料	10千円

秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金条例及び由利高原鉄道運営助成基金条例 の一部を改正する条例案について

交通政策課

1 改正理由

秋田内陸線及び鳥海山ろく線の安全対策等に充てる目的で継続的に取り崩しを行っている「秋田内陸縦貫鉄道運営助成基金」及び「由利高原鉄道運営助成基金」について、残高全体を有効に活用し持続的な運行に資するため、基金のうち寄附金を財源として積み立てられた部分を取り崩すことができるよう改める必要がある。

2 改正内容

両条例の第6条第1項「基金のうち寄附金を財源として積み立てられた金額に相当する部分は、処分することができない」を削除する。

〔新旧対照表〕

新	旧
<p><u>(相殺のための処分)</u></p> <p>第六条</p> <p>_____知事は、基金に属する現金を預金等（預金保険法（昭和四十六年法律第三十四号）第二条第二項に規定する預金等及び農水産業協同組合貯金保険法（昭和四十八年法律第五十三号）第二条第二項に規定する貯金等をいう。以下同じ。）として金融機関等（預金保険法第二条第一項に規定する金融機関及び農水産業協同組合貯金保険法第二条第一項に規定する農水産業協同組合をいう。以下同じ。）に預け入れ、又は信託している場合において、当該金融機関等に係る保険事故（預金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故及び農水産業協同組合貯金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故をいう。）が発生したときは、当該金融機関等に対する借入債務（県が保証契約により負担することとなる債務を含む。）と当該預金等に係る債権を相殺するため、基金の全部又は一部を処分することができる。</p>	<p><u>(処分の制限等)</u></p> <p>第六条 <u>基金のうち寄附金を財源として積み立てられた金額に相当する部分は、処分することができない。</u></p> <p><u>2 前項の規定にかかわらず、</u>知事は、基金に属する現金を預金等（預金保険法（昭和四十六年法律第三十四号）第二条第二項に規定する預金等及び農水産業協同組合貯金保険法（昭和四十八年法律第五十三号）第二条第二項に規定する貯金等をいう。以下同じ。）として金融機関等（預金保険法第二条第一項に規定する金融機関及び農水産業協同組合貯金保険法第二条第一項に規定する農水産業協同組合をいう。以下同じ。）に預け入れ、又は信託している場合において、当該金融機関等に係る保険事故（預金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故及び農水産業協同組合貯金保険法第四十九条第二項各号に掲げる保険事故をいう。）が発生したときは、当該金融機関等に対する借入債務（県が保証契約により負担することとなる債務を含む。）と当該預金等に係る債権を相殺するため、基金の全部又は一部を処分することができる。</p>